

**事業所名** グループホーム たけべ  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年12月18日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 介護事業所管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、精神障害者ホームヘルパー  
B:現職 介護支援専門員  
資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念として、             <ol style="list-style-type: none"> <li>1.家庭的で温かい雰囲気作りを目指します</li> <li>2.入居者を個人として尊重し、尊厳が維持される介護を目指します</li> <li>3.残存能力を最大限活かし、自立した生活ができる環境を目指します</li> <li>4.地域に溶け込んだホーム作りを目指します</li> </ol> </li> <li>・転倒、事故、感染症、食中毒などの発生を予防し、健康に生活できる環境作りをめざしている。</li> <li>・家族と地域との交流を図り、気軽に訪問してもらえる関係の構築に努めている。</li> <li>・最後まで、ホームで穏やかに暮らしてもらえるよう、入居者・家族の希望に応じて看取りまで支援していきたいと考えている。</li> <li>・今までの生活歴や経験を尊重し、その人らしく生活できる環境作りに努めている。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午後の時間を使い、トランプ等入居者の希望を聞いて楽しみごとの時間を作り、日中ゆったりとした時間を過ごしてもらうことで帰宅願望も少なくなっている。また、ホームの周辺を散歩したり、菜園の野菜を見に行くなど、落ち着いた気持ちで過ごせるよう気分転換を図っている。</li> <li>・不穏な様子が見られる時には、家族への葉書を書くなど、不安な気持ちを解消し、穏やかな気持ちで過ごせるように働きかけている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### 外部評価の結果

講評
<p>全体を通して特に良いと思われる点など(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市の北端部の緑豊かな地域に位置し、近くには、小学校や中学校、岡山市環境学習センターの「めだかの学校」等があり、静かな落ち着いた環境の中にホームはある。</li> <li>・法人の施設でもある「自立型・特定施設型 ケアハウスたけべの里」に併設して建てられており、茶色を基調としたレンガ造りで、玄関の飾り窓にはステンドグラスが施され、外の光が明るく射し込んでいる。近くには、神経痛・リュウマチ等に効果があると言われている「八幡温泉郷」があり、その温泉の湯を引いてホームで利用しており、数少ない温泉に入れるグループホームである。</li> <li>・ホールやキッチン・浴室と、車椅子での移動にも十分なスペースがある。また、トイレの数も各ユニット4ヶ所あり、入居者の状況に合わせて活動しやすい造りとなっている。</li> <li>・ホームの周りには、季節の花が植えられ、菜園に続く庭の各所にも花壇が作られている。建物の周りを巡る通路を利用して散歩も楽しめ、入居者が日常的に楽しみながら活動できる環境がある。</li> <li>・系列の法人の施設との交流も盛んにあり、ケアハウスにある「地域交流スペース」でのイベントには入居者も参加している。また、日々の食事作りや体操等にも取り組み、楽しみや張り合いのある日々を過ごしている。</li> <li>・職員は、入居者とのスキンシップを大切にしており、明るい笑顔で入居者と接し、安心して生活してもらえるように取り組んでいる。</li> </ul>
<p>特に改善の余地があると思われる点(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設して1年目ということもあり、便りの発行や地域との交流など課題は多いが、管理者を始め、職員は一丸となってサービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築にも努めており、今後は、運営推進会議を通じて地域との交流を深め、近隣の方が気軽に訪問できる地域に根ざしたホームとして邁進し、ホームの機能を地域に還元していかれることを期待する。</li> </ul>

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の下ごしらえ・盛り付け・洗濯物干し等、入居者のやりたい事やできる事をしてもらえる役割作りを行い、張り合いや楽しみのある生活を支援している。</li> <li>・これまでの生活歴や経験を尊重し、農業経験のある入居者には、野菜や花の栽培についてのアドバイスをもらう等、持てる力を発揮できるように働きかけている。</li> <li>・個人のファイルは、事務所内の鍵のかかる戸棚に保管し、外部に情報が漏れる事がないよう留意している。</li> <li>・入居者のプライベートな場所での礼儀をわきまえ、入室時には必ず声を掛けて了解を得てから入室している。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進		○
37	ホーム機能の地域への還元		○
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やヒヤリハットに関する事は、カンファレンスの時に全職員で検討し、再発防止に努めている。また、入居者同士のトラブルについては、その場だけの対応ではなく、原因を考えて解決策を検討し、未然に防ぐように努めている。</li> <li>・家族からの希望や要望には、真摯に耳を傾けて応えるようしており、「もっと外出をさせてほしい」との希望に応え、日課として外へ出る機会をできる限り増やしている。</li> <li>・法人の施設での研修に積極的に参加し、介護の質の向上に努めている。</li> </ul>		